

# 中等教育資料

中学校・高等学校の授業研究と教育課程の編成・実施のために

令和元年

7

No.998

特集

## 新学習指導要領とICTの効果的な活用①

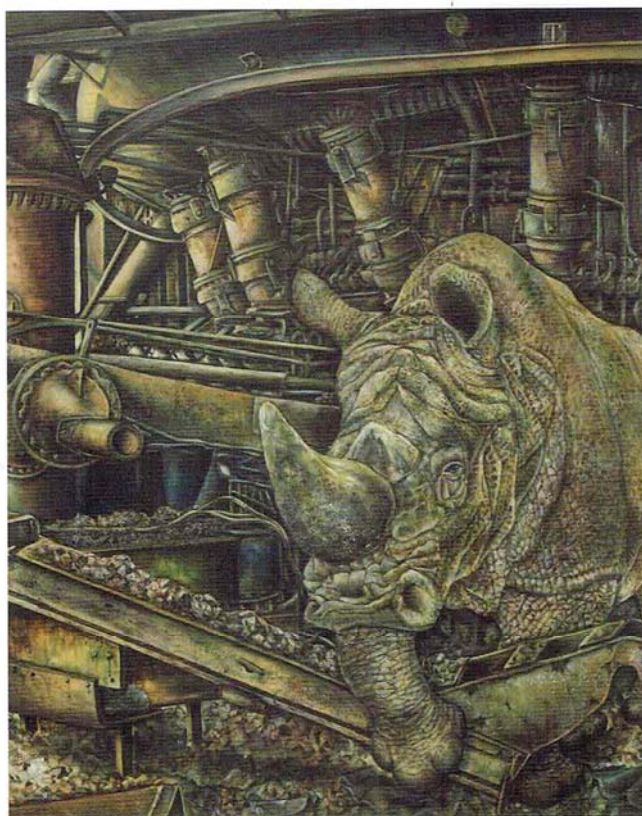
<国語, 社会, 地理歴史, 公民, 数学,  
理科, 芸術 (音楽, 美術, 工芸, 書道)>

特別企画インタビュー 香川照之 (俳優, 文部科学省「こどもの教育応援大使」)

教育小景 松島靖朗 (特定非営利活動法人おてらおやつクラブ代表理事)



創刊1000号記念連載 学習指導要領Chronicle



文部科学省教育課程課編集



# 学校文化 を創る



No.62 高知県春野高等学校

## なすことによって学ぶ ～地域と繋がる生徒たち～

### ■ 1 学校の概要

本校は高知市の西南に位置する県内有数の田園地帯の春野町にある。明治41年に弘岡実業女学校として創立され、高知県の農業教育の一翼を担ってきた。高知県立弘岡農業高等学校、高知園芸高等学校と校名を改め、平成18年からは、高知県立春野高等学校として総合学科に改編、令和元年度で14年目になる。全校生徒377名で、2年次から園芸、食農、生活クリエイト、人文の4つの系列に分かれて学習を深める。

### ■ 2 「チーム春野」として

「なすことによって学ぶ～Learning by Doing～」という校是のもと、目指す学校像を「地域と繋がり地域を支える人材を育成する学校」、目指す生徒像を「自立&自律～基礎学力の定着&自己管理能力の向上～基礎学力を身につけ自分の進路を自分で決定し、目標に向かって努力のできる生徒」としている。全ての教職員、生徒が目指す学校、生徒

像に迫ることができるよう一丸となって「チーム春野」として取組を行っている。

3年前から「自立&自律」の達成に向けて、キャリアノートと自学自習ノートの活用を取り入れている。自己理解・自己管理能力の向上に向けて日々のスケジュールを記入するキャリアノートは、当初、備忘録としての役割が主だったが、記入の時間を確保することによって日々の振り返りや講演会のメモとして活用する姿が見られるようになった。平成30年度からは「キャリア・パスポート」の実践校として研究に取り組み、学びのプロセスを記述して振り返ることができるよう「校外活動振り返りシート」を作成した。活動することが目的とならないよう、何のための活動だったのかを毎回振り返ることで自身の成長の足跡を確認することができている。年度末には1年間の振り返りとして「なすことによって学ぶ ファイナルシート」をもとに自己評価を行い、グループで共有する場面も設定した。友人のコメントによって自分では気付かなかった成長に気付くことができるな

ど、教師の関わりだけでは見えてこない成果もあった。令和元年度も継続して研究に取り組み、自己の在り方生き方、他者理解につなげていきたい。

### ■ 3 地域と繋がり、地域で育つ

総合学科として歩み始めて以降、各教科・科目や特別活動において実践的な学習を展開してきた。地域貢献活動の一環としてのボランティア活動にも毎年300名以上が参加している。総合学科の特色である「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間」の活動でも実践的な学習を多く取り入れており、地元春野町の商工会をはじめ、事業所や施設など多くの外部機関が生徒の成長を見守ってくださっている。

1年次の「産業社会と人間」の取組の一つに地域探究学習「春野の自慢を見つけよう」がある。地元春野町の歴史、産業、観光、文化、自然、人物の6つの分野でフィールドワークにより調査研究を行う。高齢化が顕著な地域にあって地域の課題に気付くとともにコミュニケーションを通して社会人としての礼儀やマナーを実践的に学ぶ機会になっている。

2年次では全員が夏休みの3日間、高知市内とその近郊においてインターンシップを実施している。事前学習を行い、希望する進路や興味がある事業所で就業体験をする。例年80を超える事業所が協力してくださっている。

3年次では、1年間を通して4つの系列の特性を生かした課題研究に取り組んでいる。

例えば生活クリエイト系列では「障がい者の社会参加について」をテーマに地元にある障害者就労事業所のパン工房と共同で高知県発祥の帽子パンにアレンジを加えたコラボ帽

子パンを開発した。地域のイベントや校内で実施している農産物の販売実習、通称「ショップ花時計」でもすぐに完売するなど人気となり、新聞にも数回取り上げられた。

園芸系列では、学校の正門前の用水路沿いの通称“あじさい街道”の衰退を何とかできないものかと「がっかり街道 再生プロジェクト～あじさいでつなぐ地域の輪～」をテーマに産官学民連携による“あじさい街道”復活を通じた地域コミュニティの活性化に取り組んだ。地元企業から協賛をいただき、子供向け土曜夜市を開催したり、学校前を数十メートルに渡りあじさいのプランターで飾ったりと園芸系列ならではの取組を行い、地域からの期待も大きくなっている。また、この活動を広報するために制作したCMが高知県主催「君のまち動画コンテスト」で優秀賞を受賞することもできた。“あじさい街道”の復活が、地域コミュニティの活性化につながるとの手応えから本年度は後輩が取組を引き継いでいる。



あじさいの手入れをする本校生徒

生徒たちは、学校で学んだことが社会とどう繋がっていくのか、どのような場面で活用できるのか、何が足りないのか、仲間と協力し主体的に課題解決に取り組み、体験を積み重ねることで学びの成果を実感することができている。今後も地域とともに発展する学校として、地域の課題解決に取り組んでいきたい。

(文責 校長 下司眞由美)